

## 会長あいさつ要旨

前期に引き続いて、また大変な役目を仰せつかったと思います。この委員会は平成15年の10月に発足したのが第1期で、今期は第5期になります。先ほどの知事のご挨拶にもありましたように、行財政改革プランが16年にできました。そして21年に、中期行財政運営ビジョンが策定されました。それらに従って行財政改革が行われてきたわけですが、知事を先頭にして知恵を結集し、そして汗を流して現場主義に徹して、行政基盤の強化が図られて、23年末には基金残高が約400億円を超えるという成果を上げています。

そして、長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」の実現に向けて、今年3月に行財政高度化指針が策定されました。この内容を見ますと、行政の質の向上、そして行革実践力の発揮という新たな行財政運営を目的にされておりますけれども、こういった新しい行財政運営が着実に実践できるかどうかについて、本委員会としても提言をし、意見を述べてまいりたいと思います。

今期の委員は、顔ぶれが相当変わりました。新鮮で新しい視点に立った意見、提言が出ることを期待しております。また、どうか各部局におきましても、この委員会での意見を十分に踏まえて、行財政高度化指針の実現に取り組んでいただきたいと思います。

以上で、私の挨拶を終わります。ありがとうございました。